

武豊町議会議長 石原 壽朗 殿

武豊町議会議員 鳥居 美和

一般質問の通告について

令和3年第2回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
<p>1 災害時のペット同行避難について</p>	<p>【趣旨説明】 東日本大震災から10年を迎えました。今年の3月には様々な報道がされ防災、減災対策について関心が高まっていると感じています。コロナ禍のステイホーム中に「我が家の防災対策」をご家族で話し合いをされた方から「家族の一員のペットを連れて避難所にいけるのか」との問い合わせを多数頂きました。単なるペットという位置づけを超えて家族や友人の一員としての伴侶動物として認識される方も多くお見えになってきています。 本町において令和元年度、狂犬病予防注射をした犬の数は2,152匹です。犬だけでなく猫やインコなどペットは多種類にわたり、飼い主の中には災害時におけるペットの対策について不安に思われている方もおられます。 東日本大震災では多くのペットが飼い主と離れ離れになり行方不明になったり、自宅に置き去りにされ悲しい結果となったケースがたくさんありました。 こうしたことから国は災害時に飼い主とペットが同行避難することを原則としたガイドラインを策定しました。また、令和2年5月29日に最近の災害対応の教訓を踏まえて「防災基本計画」が修正されました。修正内容は動物愛護管理の面から市町村が行う努力義務として、必要に応じ、指定避難所における家庭動物のための避難スペースの確保等に努めること。また、獣医師会や動物取扱業者から必要な支援が受けられるよう、連携に努めることが追加されました。これは令和元年の水害で、ペットとの同行避難をした人が指定避難所に入れない事態や、避難所にはペットとの同行避難ができないと考えた方が、危険を顧みずに避難しなかったことなどが背景となっています。そして、環境省は今年3月29日に災害時に飼い主がペットを連れて避難する「同行避難」の受け入れを円滑に進めるため、事前の備えや災害後の対応について、自治体を実施すべき事項を確認できるチェックリストを公表いたしております。 そこで、本町における災害時のペットとの同行避難について4点質問させていただきます。</p> <p>【質問事項】</p> <p>① ペットとの同行避難について、本町では、どのような対応となっていますか。</p> <p>② 環境省では「災害、あなたとペットは大丈夫？」というパンフレットを作成し、人とペットの災害対策ガイドライン等について、周知されています。これらのパンフレットは、本町におきましても活用できるのではないかと考えますが、いかがでしょうか。</p> <p>③ 災害時には、被災した動物や飼い主に対して必要な支援を行うため、獣医師の協力が必要であると考えます。本町では、どのように考えておられますか。</p> <p>④ 災害時におけるペットの対策について、広報誌、ホームページなどでの住民の方々への周知が大変重要であると考えますが、いかがお考えでしょうか。</p>